

もっと深く

広報 **うつのみや+**

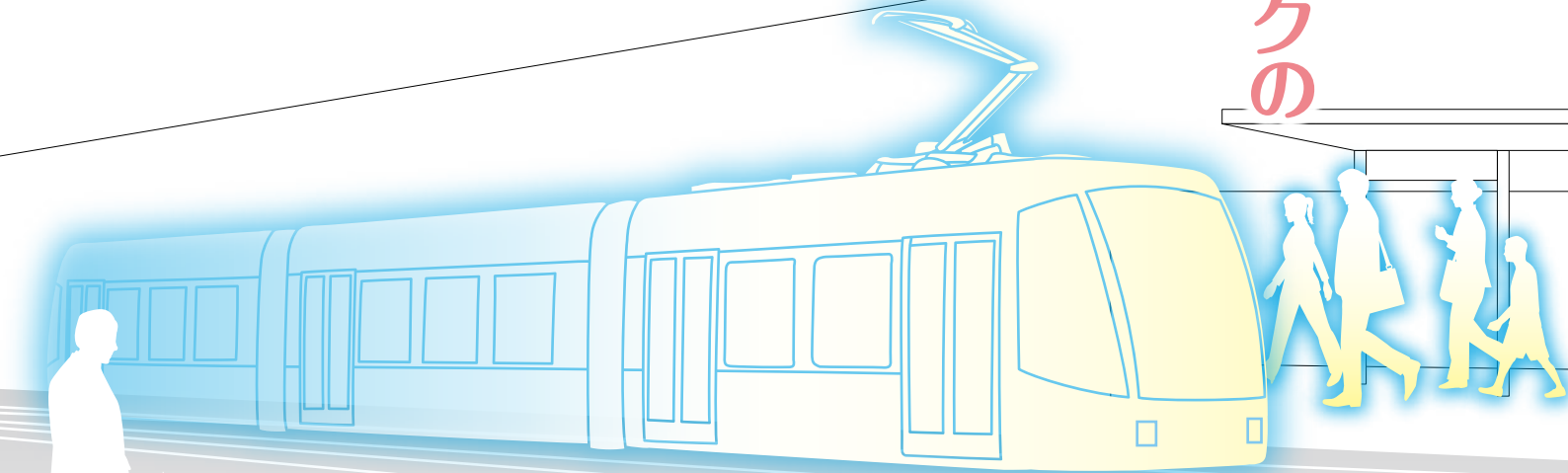
宇都宮情報



テーマに対するご意見を
アイデア通信(7ページ)で
お寄せください。

L ight R ail T ransit

総合的な公共交通ネットワークの 「要」となるLRTの整備



人口減少、少子・超高齢社会を迎える中、子どもから高齢者まで安心して便利に暮らせる魅力あるまちとして発展していくため、本市では「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりに取り組んでいます。

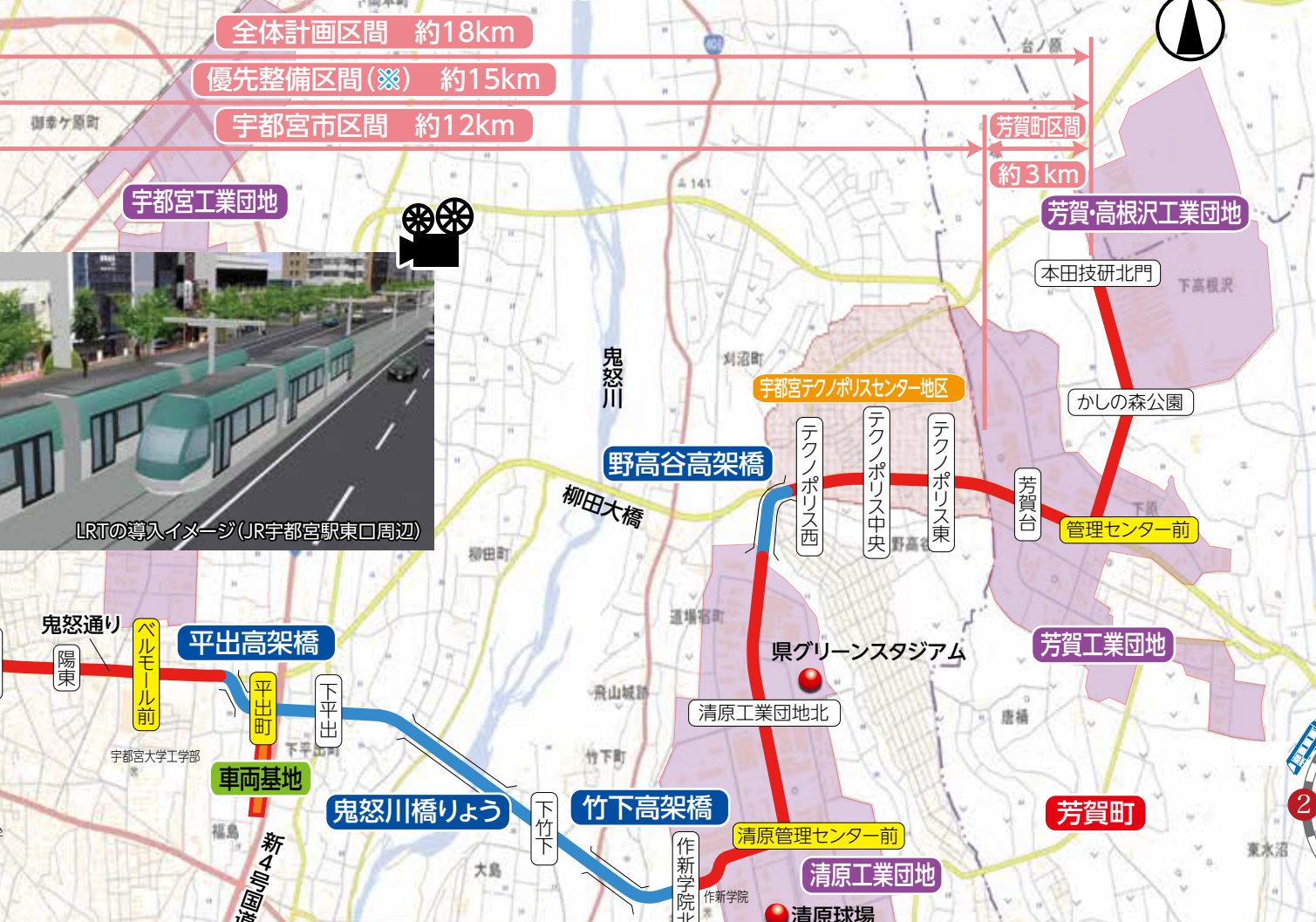
その実現に向けては、拠点間のつながりを高めて、市域内を快適に移動できることが重要となります。そのため、地域の特性に応じ、各種公共交通が機能的・効率的に連携した階層性の

ある公共交通ネットワークの構築に取り組んでいます。LRT (Light Rail Transit・次世代型路面電車システム) は、その中心を担う東西基幹公共交通として整備します。

本市では、LRTの整備によって、市民の皆さんが日常生活においてさまざまな移動手段を確保でき、また、沿線地域の産業の活性化や、将来的な鉄道との連携による広域交通ネットワークの形成などの効果を期待しています。

芳賀・宇都宮東部地域(優先整備区間)のLRT整備

全国初となる全線新設によるLRTの実現に向けて



LRTの導入イメージ(JR宇都宮駅東口周辺)



▲トランジットセンターのイメージ(左:バスとの乗り継ぎ 右:自動車との乗り継ぎ)



▲ストラスプール(仏)のLRT

LRT整備の検討

LRT事業については、平成25年3月に策定した「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」において、桜通り十文字付近から宇都宮テクノポリスセンター地区までを全体計画区間とし、JR宇都宮駅東側から段階的に整備することとしました。

平成25年10月には芳賀町のLRT事業への参画意向を受け、JR宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地付近までの区間を優先整備区間(上の地図※)として改めて設定し、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」などで事業化に向けた具体的・専門的な検討を進めてきました。

公共交通網形成計画の策定

このような検討と合わせて、本市では、芳賀・宇都宮東部地域の公共交通の充実・強化に向け、平成27年11月に芳賀町とともに「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画」を策定しました。この計画では、基幹公共交通としてのLRT整備(軌道運送高度化事業)とともに、当該地域のバスネットワーク再編や交通結節機能の強化、ICカードの導入などの事業を掲げています。これらの事業を着実に進めることによって、当

◎映写機マークにアプリをダウンロードしたスマートフォンまたはカメラ付きタブレットをかざすとAR(拡張現実)で動画をご覧いただけます。設定方法など、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

| 優先整備区間 事業概要 | |
|--------------------|---|
| 営業キロ | 約15キロメートル（複線） |
| 事業方式 | 公設型上下分離方式 |
| 営業主体（上） 整備主体（下） | 宇都宮ライトレール株式会社 宇都宮市、芳賀町（※1） |
| 停留場数 | 19カ所（100パーセントバリアフリー） |
| トランジットセンター想定箇所 | 5カ所 |
| 導入車両 | 低床式車両（LRV）17編成（車両長 約30メートル） |
| 車両定員 | 155人（最大輸送力232人） |
| 概算事業費 | 約458億円（消費税は含まず） （内訳）宇都宮市区間 約412億円 芳賀町区間 約46億円（※2） |
| 主な効果 | ▽移動に要する総所要時間の短縮 ▽道路交通事故の減少 ▽環境負荷の軽減 ▽運転できない人の外出機会の向上 ▽沿線地域の活性化 ▽拠点機能の強化による人口や企業などの集積 ▽経済活動の活性化による税収増 など |
| 着工・開業予定 | 着工 平成28年度 開業 平成31年度 |

| 優先整備区間 運行計画 | |
|---------------------------|---|
| 運転最高速度 | 全線時速40キロメートル（※3） |
| 需要予測 | 1日当たり16,318人（平日） |
| 運転時間帯 | 午前6時台～午後11時台 （JR宇都宮駅の新幹線の始発・終電に対応） |
| 運行間隔 | ▽ピーク時 6分間隔（1時間当たり10本） ▽オフピーク時 10分間隔（1時間当たり6本） |
| 所要時間 （起終点間） | ▽普通電車（各停留場に停車） 約44分 ▽快速電車（一部停留場を通過） 約37～38分（※4） |
| 運賃 | 初乗り150円～400円（対距離制） |
| JR宇都宮駅東口から主な停留場までの所要時間・運賃 | 普通電車を利用した場合 ▽ベルモール前 約11分 150円 ▽清原工業団地北 約27分 300円 ▽本田技研北門 約44分 400円 |
| 運賃收受方法 | ICカードシステム導入（ワンマン運転） |



該地域の公共交通空白・不便地域の解消や産業拠点の維持・向上などに効果的かつ重点的に取り組んでいきます。

早期開業を目指して

LRT整備については、より詳しい需要予測や営業主体の確保などの取り組みを踏まえ、平成28年1月に都市計画決定に向けた手続きを開始したところです。また、LRTの整備や運営に必要な軌道事業の特許を取得するため、「軌道運送高度化実施計画」を取りまとめ、国に認定申請を行いました。

今後、軌道事業の特許や都市計画事業に関する認可、軌道整備などの工事施行に関する認可などを取得し、平成28年度の着工、平成31年度の開業を目指していきます。

また、優先整備区間の取り組みと合わせ、現在、JR宇都宮駅横断部のルートなどの検討を行っており、さらにJR宇都宮駅西側区間についても沿線の教育施設への利用意向調査などを予定しています。

このようなLRT事業の進捗については、今後もオープンハウスや出前講座などの機会を通じて市民の皆さんに情報を発信していきます。

※1芳賀町区間は芳賀町が整備します。※2概算事業費のうち共用する車両や車両基地などの整備費は本市と芳賀町で応分の負担とします。※3将来的に運転最高速度は自動車交通との併用区間で時速50キロメートル、鬼怒川橋りょうなどのLRT専用走行区間の一部で時速70キロメートルとする軌道法の特認を目指します。※4追い越しを伴う快速電車の運行は軌道事業において国内初の取り組みとなります。